

学部留学生を対象とする言語文化科目「日本語」

浮 葉 正 親

学部に在籍する留学生が大学で所定の単位を取得していくためには、講義を聴く、ノートをとる、ゼミで発表する、レポート・答案を書く、ディスカッションをするなど、高度な日本語運用能力が要求される。授業ではそのための訓練を行うとともに、日本人学生や教員とのコミュニケーション能力の育成や日本社会・文化に対する理解を深めることを目的としている。

2012年言語文化科目「日本語」の科目および受講者数は以下の通りであった。

期	対象	内容	時間	担当者	受講者数	コード
1期（1年前期）	文系	文章表現	月3限	秋山	15	0011323
		口頭表現	木3限	西田	15	0014323
	理系	文章表現	火2限	村上	2	0012240
		口頭表現	木2限	西田	2	0014240
	工学（国）	口頭表現	月2限	秋山	8	0011256
		文章表現	水2限	魚住	7	0013251
	工学（私）	文章表現	月2限	村上	16	0011257
		口頭表現	水2限	鷺見	12	0013252
2期（1年後期）	文系	文章表現	金2限	秋山	15	0025223
		口頭表現	木3限	村上	16	0024323
	理系	文章表現	火2限	村上	2	0022339
		口頭表現	木2限	西田	2	0024239
	工学（国）	口頭表現	月2限	西田	7	0021258
		文章表現	水1限	魚住	9	0023136
	工学（私）	文章表現	月2限	秋山	13	0021259
		口頭表現	水1限	鷺見	13	0023137
3期（2年前期）	文系	文章表現	火1限	浮葉	24	0032111
4期（2年後期）	文系	文章表現	木1限	浮葉	24	0044111

クラス

文系：文学部・教育学部・法学部・経済学部・情報文化学部社会システム情報科

理系：医学部・理学部・農学部・情報文化学部自然情報学科

工学（国）：工学部（国費留学生・政府派遣留学生）

工学（私）：工学部（私費留学生・日韓理工系留学生）

授業内容

1年前期

文系・文章表現

読む力、書く力の練習。脱国家的な地球的問題群のひとつを共通テーマとして取り上げる。テーマについての理解を深める過程で読む練習、書く練習をする。最終目標は、共通テーマに基づくレポート作成にある。共通テーマは「グローバル化」である。

「市場原理主義」「グローバル・キャピタル」「グローバル化への懸念」の各小テーマに関する資料を読むなかで読む力の養成を、そしてレポート作成作業のなかで書く力を養成する。教材：作成教材（新聞、雑誌）

文系・口頭表現

大学生活においてスムーズで魅力的な口頭表現ができるようになるための練習をした。とくに、構造的な

わかりやすさということに注目し、いくつかのトピックを話す場合に、同じトピックのものをまとめて話すグルーピング、トピックをまとめたものを最初に話すラベリング、どの順序で話すかというオーダリングを考えて話す練習をした。比較と対照の表現や助詞相当語の使用法なども学んだ。

理系・文章表現

メールによる依頼文や連絡の文章、手順説明の説明文、資料を活用した意見文など、大学生活で必要となる文章表現技術をピア・ラーニング活動を通して学習した。また、レポートを作成するために必要なアウトラインの立て方、引用・要約の仕方、レジユメの作成など基本的技能を段階的に学習した。学習者は授業に先立ちポートフォリオ作成の説明を受け、授業の中で意識的に自分の学習の仕方をモニターし、ポートフォリオを完成した。試験とポートフォリオによって評価された。

理系・口頭表現

大学生活においてスムーズな口頭表現ができるようになるための練習をした。とくに、構造的なわかりやすさということに注目し、いくつかのトピックを話す場合に、同じトピックのものをまとめて話すグルーピング、トピックをまとめたものを最初に話すラベリング、どの順序で話すかというオーダリングを考えて話す練習をした。短く表現する方法や助詞相当語の使用法なども学んだ。

工学系（国費）・文章表現

読解能力と論理的文章作成の基礎力養成を目的に、日本の大学生・文化・社会や科学技術を扱った新聞等の読解、要約・意見・ポイントを整理して書く練習を行った。読み物としては、原発事故と放射能、非正規雇用についての記事などを取り上げた。その他、板書文字、文体、句読点、原稿用紙やメール・レジユメの書き方の学習、発表を行った。

工学系（国費）・口頭表現

話す力、聞く力の練習。脱国家的な地球的問題群のひとつを共通テーマとして取り上げる。テーマについての理解を深める過程で話す練習、聞く練習をする。最終目標は、共通テーマに基づく口頭発表にある。共

通テーマは「格差と成果主義」である。「戦後日本社会の富裕層」「現代日本社会の格差」「成果主義」の各小テーマに関する資料を利用し、情報伝達、大意伝達、質疑応答などの活動を通じて話す力の養成を行う。教材：作成教材（新聞、雑誌）

工学系（私費）・文章表現

大学生活で必要となる文章表現技術に関してピア・ラーニング活動を通して学習した。メールによる連絡・依頼文、簡単な機械の使い方マニュアルなどの説明文、資料を活用した意見文などを書く練習を行った。また、レポートを作成するために必要なアウトラインの立て方、引用・要約の仕方、レジユメの作成など基本的技能を段階的に学習した。学習者は授業に先立ちポートフォリオ作成の説明を受け、授業の中で意識的に自分の学習の仕方をモニターし、ポートフォリオを完成させ提出した。試験とポートフォリオによって評価された。

工学系（私費）・口頭表現

- ・プレゼンテーションの実践を通して、発表及び質疑応答の仕方を学んだ。
- ・プレゼンテーションに必要な表現の確認と運用の練習
- ・プレゼンテーションの準備と実践（内容を豊かにするための活動・参考資料の活用・アウトラインの作成・発表スライドの作成）
- ・you-tube, DVD を視聴し、ノートを取り、内容をまとめ、口頭で伝える練習をした。
- ・自律的学習能力の向上を目的とし、自己課題の設定及び自己評価を行った。

1年後期

文系・文章表現

話す力、聞く力の練習。脱国家的な地球的問題群のひとつを共通テーマとして取り上げる。テーマについての理解を深める過程で話す練習、聞く練習をする。最終目標は、共通テーマに基づく口頭発表にある。共通テーマは「英語の世界化」である。「英語帝国主義」「各国事情」「日本における英語事情」の各小テーマに関する資料を利用し、情報伝達、大意伝達、質疑応答などの活動を通じて話す力の養成を行う。教材：作成教材（論文、新聞、雑誌）

文系・口頭表現

ロールプレイによる口頭表現練習や、ディスカッション、ディベート、提言スピーチを通して、自分の意見を論理的、効果的に伝える口頭表現技術の向上を目指した。ディベートは学習者が設定したさまざまなテーマに関する賛成、反対の立場から、学習者1名につき3回ずつ登壇し、議論を戦わせた。ディベートは録画し、e-メールを使って即日録画ファイルを送った。学習者はそれを見ながら振り返り、改善案を考え、ポートフォリオに入れる反省シートに書き込んだ。学習者は授業に先立ちポートフォリオ作成の説明を受け、授業を通して意識的に自分の話し方や学習の仕方をモニターし、ポートフォリオを完成した。

理系・文章表現

実際の科学技術論文を読み、その中で使われる書式や表現を学習した。また、語彙・表現を増やす目的で学習者の関心のある書籍を多く読み、それに関するレジュメやレポート作成を実際に行った。文章の要約や引用の仕方、図表の作り方やその説明など、レポート作成のための文章を書く練習をおこなった。また、語彙・表現を増やすために多読を勧め、学習者は自習で読んだ新書や小説などを記録したポートフォリオを最終回に提出した。

理系・口頭表現

前期に引き続き、談話をわかりやすくする構造的条件を考えながら、より魅力的に話す練習をした。今期から、プレゼンテーションソフトを使用し、スライドを見せながら話す練習を取り入れた。まずは、自分の研究が魅力的なものであることをプレゼンテーションで示すということと1つの映画を視聴し、ほかの人が見たくするようなプレゼンテーションするということを通して、よいところを学びあった。

工学系（国費）・文章表現

さらに高度な文章表現能力の養成を目的に、図表の説明・引用の仕方・レポートの書き方を学び、自由テーマでレポートを2回作成・発表した。1回目はグループで、資料丸写し防止と分析力養成のため、図表を元に分析して書いた。2回目は各自で、図表以外の文書資料も読んで書いた。また特に、根拠を示して論じることを意識させた。

工学系（国費）・口頭表現

大学生活においてスムーズで魅力的な口頭表現ができるようになるための練習をした。とくに、構造的なわかりやすさということに注目し、いくつかのトピックを話す場合に、同じトピックのものをまとめて話すグルーピング、トピックをまとめたものを最初に話すラベリング、どの順序で話すかというオーダリングを考えて話す練習をした。比較と対称の表現や助詞相当語の使用法なども学んだ。

工学系（私費）・文章表現

読む力、書く力の練習。脱国家的な地球的問題群のひとつを共通テーマとして取り上げる。テーマについての理解を深める過程で読む練習、書く練習をする。最終目標は、共通テーマに基づくレポート作成にある。共通テーマは「グローバリゼーション」である。「市場原理主義」「グローバル・キャピタル」「グローバリゼーションへの懸念」の各小テーマに関する資料を読むなかで読む力の養成を、そしてレポート作成作業のなかで書く力を養成する。教材：作成教材（新聞、雑誌）

工学系（私費）・口頭表現

- ・ディベートの実践を通して、討論の仕方を学んだ。（必要十分な資料の活用、論理的で一貫性のある内容の構成、聞き手を納得させる効果的なスピーチ、相手の内容を踏まえて自説を展開する効果的な討論）
- ・語彙力、基礎的口頭表現力と自律的学習能力の向上目的として、「読書活動」を行った。
- ・日本語・日本についての理解を深めることを目的として、川柳の鑑賞・作成を行った。

2年前期**文系・文章表現**

日本社会・日本文化に関する文献等を読み理解を深めるとともに、レポートや卒業論文に必要な論理的な文章の書き方を学んだ。小学校での英語教育導入、大学生の就職活動をめぐる問題の中からテーマを選び、資料を読みながら、アウトラインと序文を作成した。

2年後期

文系・文章表現

前期で学んだ内容をふまえ、より高度な読解力、文章表現力の向上を目指した。要約と引用の方法を中心に学び、興味のある本の内容を紹介するレポートを作成した。ここ数年話題となった新書を十数冊準備し、選んでもらった。

授業アンケートの結果

例年のように、授業終了時に行われたアンケート結果では、ほぼ全項目において非常に高い評価を得た。主な項目を下に示す。(4点満点)

- ・この授業はシラバス等で説明された授業目標や評価方法に沿って行われましたか (3.8)
- ・この授業に意欲的・自発的に取り組むことができましたか (3.8)
- ・この授業で設定された学習内容を理解できましたか (3.7)
- ・担当教員の熱意や工夫を感じましたか (3.8) ・担当教員の熱意や工夫を感じましたか (3.8)